

日本技術士会東北本部 岩手県支部 役員会会議録

会議の種類	2021年度 第5回役員会		
開催日時	2022年1月29日(土) 13時30分～14時30分		
開催場所	エスポワールいわて 2F大ホール		
出席者氏名	小野寺 徳雄(支部長)、加藤 修、鈴木 浩行、川野 好宏、菅原 常彦、佐藤 俊孝、高橋 敏晴、高橋 正博、武田 洋一、西村 和明、番澤 悦昭、安野 雅満、利部 哲、佐藤 悟(※)、小原 正明(※)、(※=オブザーバ)		
参加人数	15人(幹事13人)	会議録作成者	利部 哲

【主な決定事項及び検討事項】

1. 役員会の成立

岩手県支部幹事19名中、出席13名、委任状5名、計18名で役員会(幹事会)が成立した。

2. 報告事項

(1) 2022年新春講演会について

企画委員長より次のとおり報告があった

- ・会場参加が30名(内一般2名)、またWeb参加が15名で、計45名の申し込みがあった。

(2) 2021年度第3回東北本部役員会報告(1/27)

支部長より次のとおり報告があった

- ・「政策事業委員」を「総務委員会」に名称変更することへの審議、承認があった。
- ・東北本部長表彰等運用の手引の制定について承認があり、表彰状授与の他、協賛団体への感謝状贈呈や、50回記念となる本年7月中旬開催予定の東北本部年次大会で授与、贈呈を予定していることの説明があった。
- ・東北本部防災委員会が実施主体となる東日本大震災復興10年事業について、発災10年目となる本年度にキックオフし5年間の継続事業としていることや、2024年度は被災3県の復興のまとめについて岩手県支部も何らかの形で作業に参加する旨の説明があった。
- ・東北本部役員、県支部幹事を対象にアンケート「技術士になると人生は変わるのか？」(仮称)の実施を予定しているため、協力をお願いしたいとの依頼があった。
- ・機関紙「ガイアパラダイム技術士東北」への投稿者(担当支部)予定の説明があり、各県支部、各部会の協力をお願いしたいとの依頼があった。

(3) 第50回日韓技術士国際会議報告書について

支部長より第50回日韓技術士国際会議報告書の内容説明があった。

3. 協議事項

(1) ガイアパラダイム技術士東北(2022年7月1日号「寄稿」)への寄稿者について

広報委員長より寄稿のコーナーへの執筆依頼があり、もし希望者がいない場合は広報委員長に一任するという事で承認を得た。

(2) 秋季講演会以降の講演候補について

企画委員長より2022年秋季講演会以降の講演候補募集のお願いがあった。支部長から講演候補2名の案が示された。

4. その他

(1) 各研究会の活動報告、活動予定について

- ・鋼構造コンクリート研究会の現場見学会は、現地での鳥インフルエンザ発生により急遽中止となったため、新型コロナウイルスの状況をふまえ、再度予定を調整のうえ実施したいとの報告があった。

(2) その他

- ・企画委員長より第4回いわて技術士交流会は新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止との説明があった。
- ・企画委員長と企画副委員長より講演会等のLIVE配信で使用するソフトウェアや機材の検討状況の報告があった。企画委員会で設備案をまとめ、次回の役員会に提示することとした。
- ・岩手県支部で今後使用するパソコンについて、購入、リースの両面で検討することとする。
- ・日刊岩手建設工業新聞創刊65周年記念特集号に岩手県支部としてEスペースの広告を掲載する。
- ・来年度の年次大会講演者は岩手県支部会員とし、人選は総務委員会に一任する。—以上—

議事録署名

鈴木 浩行



高橋 敏晴

